

科目名 (英)	介護実習Ⅰ－① (Nursing Care PracticeⅠ－①)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
曜日・時限							
【授業の学習内容】 社会福祉現場における専門職としての専門知識や技術を具体的な経験を通して、実践の応用能力が習得できる。 個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解ができる。 実習に臨む姿勢を修得し、比較的要介護度の低い利用者のいるデイサービス等に短期間出向き、利用者の望む生活とはどのようなものか、利用者の言葉として捉え、その学びを記録に残し、他学生とその感じ方を共有し、受容と共感の実践的な学びが理解できる。 ※実務者経験：医療機関に所属していた。主業務は内科及び急性期医療部門を担当していた。※取得資格：看護師 ②福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格：介護福祉士							
【到達目標】 実習に臨む姿勢が修得できる。利用者の望む生活とはどのようなものかが理解できる。利用者の言葉として捉えるコミュニケーションの展開と実践ができる。実習の学びを記録に残すことができる。							

授業計画・内容	
1回目	実習生として実習に臨む姿勢を学ぶことができる①。
2回目	実習生として実習に臨む姿勢を学ぶことができる②。
3回目	利用者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる①。
4回目	利用者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる②。
5回目	利用者とのコミュニケーションを円滑に行うことができる④。
6回目	利用者の望む生活が理解できる①。
7回目	利用者の望む生活が理解できる②。
8回目	利用者の望む生活が理解できる③。
9回目	利用者の望む生活が理解できる④。
10回目	学びを記録に残すことができる①。
11回目	学びを記録に残すことができる②。
12回目	学びを記録に残すことができる④。
13回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる①。
14回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる②。
15回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる④。
準備学習 時間外学習	準備学習…Ⅰ「介護総合演習Ⅰ」の授業が実習の準備学習になるため、教科書の内容を熟読し、理解しておく必要があります。 時間外学習(復習)…実習中は、各科目の教科書や文献を熟読し、疑問に思う点についてはその都度、解決を図る行動を求めます。
評価方法	実習評価表、実習日誌の記載内容および巡回指導時の指導内容で評価します。成績の評価は、100点満点とする。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「介護総合演習・介護実習」（中央法規出版）	